



令和8年度

『学位取得(課程博士)に向けての研究助成』

募集要項

人間環境学府では、研究活動の活性化を図ることを目的として、学位取得を目指す博士後期課程の大学院生による優れた研究に対して助成を行っています。また、その研究成果を公開報告会で発表することにより、学際学府としての社会的役割を果たすとともに、専攻を超えた学びの場ともしています。

これらの目的のため、令和8年度の助成対象研究を下記により募集します。

1. 助成対象

- (1) 人間環境学府博士後期課程の大学院生が学位取得のために行う研究とする。
- (2) 助成期間は採択日から年度末までとする。
- (3) 助成は学生の在籍中に1回限りとする。
- (4) 日本学術振興会特別研究員が行う研究は対象外とする。

2. 助成額及び件数

1件につき10～25万円の範囲で、約10件に助成する。

3. 応募方法

- (1) 募集期間：令和8年4月3日(金)から4月21日(火)まで
- (2) 応募手続き：応募者は、指導教員の推薦のもとに、①申請書(別紙)と②自身の研究業績に関わる論文(コピー)を次のフォームから提出する。

【提出フォーム】

https://archive.iii.kyushu-u.ac.jp/public/GX5yA1hSRwWGS4GZCqe0T_J12AWUmoZMhg79LeCXsJES

4. 選考方法

- (1) 第1次選考：募集締切の後、応募者の所属する専攻において審議し、以下に示す各専攻の推薦件数上限内で順位をつけて、第2次選考委員会に推薦する。

都市共生デザイン専攻	2
人間共生システム専攻	4
行動システム専攻	4
教育システム専攻	4
空間システム専攻	3
九州大学・釜山大学校都市・建築学国際連携専攻	1

- (2) 第2次選考：各専攻からの推薦を受けた後、第2次選考委員会で書類審査を行い、委員の合議によって助成対象を5月中旬に決定する。

5. 選考基準

完遂可能性，先端性，独創性，学際性，発展性，新しい領域への挑戦・開拓，課題の明確さ，方法論の確かさなどを中心に選考する。

6. 第2次選考委員

合同運営委員会委員がその任にあたる。

7. 公開報告会での発表

助成対象者は，令和9年3月に予定されている公開報告会（学際フォーラム）において，研究成果を発表しなければならない。

8. 報告書の提出

助成対象者は，令和9年3月5日（金）までに，研究助成による成果報告書を提出しなければならない。

令和8年度『学位取得(課程博士)に向けての研究助成』申請書

- ・本計画書に自身の研究業績に関わる論文(コピー)を添えて、4月21日(火)までに指定の提出フォームから提出する。
- ・研究経費に雇上げ賃金は計上できない。
- ・旅費は申請総額の50%を超えては申請できない。

(ふりがな) 申請者氏名						専攻 学年	専攻 博士 年
研究課題							
研究経費 (千円)	設備備品費	消耗品費	旅費	謝金	その他	総計	
研究目的 研究の背景(これまでの研究経過・研究成果等との関連)と研究目的(何をどこまで明らかにしようとするのか)について焦点を絞り、具体的かつ明確に記述する。							

研究計画・方法 研究目的を達成するための研究計画・方法を具体的に記述する。

研究の特色・独創的な点 当該分野におけるこの研究の芸術的な特色や独創的な点を記述する。

人権の保護及び法令等の遵守への対応

<p>本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等(国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む)に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を記述する。個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査(個人履歴・映像を含む)、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となる。該当しない場合には、「該当なし」と記入する。</p>

推薦指導教員 氏名		専攻・職	
	指導教員確認日： /		

推薦理由